

## NPO スポーツコーチングアカデミア

スポーツの価値は何ですか？

スポーツで実感できる価値はたくさんあります。私たちは「スポーツには価値がある」を実感してきました。しかし、スポーツそのものに価値を求めていません。スポーツの価値は、それに関わる人の哲学や倫理観により生み出されるからです。

これまでにスポーツの価値を実感できなかった方々もたくさんいると思います。それはスポーツそのものの問題ではなく、「ヒト」の問題です。

→

価値を実感できる日常的なスポーツ活動（する、みる、ささえる）は幸福で豊かな生活（ウェルビーイング）の実現に繋がります。私たちは、スポーツで価値を生み出し続けるためにも、スポーツ関わるヒト（特にコーチ）が一生学び続ける場が必要だと考えました。スポーツの関わるヒトが成長し続け、たくさんの方々にスポーツの価値を実感していただくこと、そしてスポーツを通して広く社会に貢献していくため、NPO を設立しました。

**LEARN BY DOING**



**SPORT COACHING ACADEMIA**

コーチが学べばスポーツはもっと楽しくなる



<https://sport-coaching-academia.or.jp/>

## SCA Philosophy

### ミッション／MISSION

世界の「平和」と個の「ウェルビーイング」の両立

### ビジョン／VISION

スポーツを通して、すべての人が自己の成長を  
追求できる社会

### バリュー／VALUE

「精力善用」「自他共栄」「相助相譲」

## SCAの段階的アプローチ

### ○ スポーツイノベーションハブ

地域の目標を達成するために、私たちは問題をプロジェクト化し、学会や団体、企業などが連携・協働できる体制を構築します。SCSは、スポーツイノベーションハブという役割を持って組織の細分化と縦割りの弊害にアプローチします。

### ○ 実践型コーチング学習／Learn-by-doing

各プロジェクトでは、ゴール設定→実行→問題認識  
および抽出→原因の探求→システムデザイン→実行  
→検証・評価までを行います。

プロジェクトに関わる会員や地域のコーチングスタッフは、この活動を通して、実践的にコーチングを学びます。

## SCAの活動フロー

「講習+調査」→「プロジェクト化」→  
「連携+介入」→「実践学習」→  
「社会貢献」

講習+調査（パッケージ）を通して、地域の方々とコミュニケーションを取るところからスタートします。私たちが一緒に活動することで問題が解決できると判断していただける場合は、調査で抽出した問題をプロジェクト化します。このプロジェクトで問題を解決するために必要な団体や企業があれば、プロジェクトチームとして連携体制を作ります。

このプロジェクトには正会員個人が参加することも可能です。一緒にプロジェクトに関わり、課題を達成し、問題を解決することで、実践的に学び、人として成長していくことを目指します。

そして、プロジェクトの終了が終わりではなく、そのプロジェクトで学んだことを社会に還元していきます。これにより、多くの方がスポーツの価値を実感できると考えています。

## SCAの役員／創設メンバー



石井孝法 | 了徳寺大学教授／了徳寺学園  
医療専門学校校長／日本武道学会理事

藤井裕子 | ブラジル柔道連盟  
総監督



松下尚道 | 全日本空手道連盟  
プランニングディレクター



伊藤瑞希 | Sydney Football Club  
ジュニアアカデミーコーチ



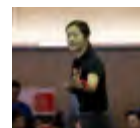
山田永子 | 筑波大学助教／  
日本コーチング学会広報委員長



崎尾萌 | 在オーストラリア  
日本国大使館



渡部悠香 | 大阪キリスト教  
短期大学講師



衣笠泰介 | 日本スポーツ振興  
センター／Frontiers in Sports and  
Active Living Review Editor



廣川充志 | 桐蔭横浜大学 准教授／  
全柔連女子柔道振興委員会副委員長

